



ベンゾジアゼピン系薬物の慎重かつ適正な処方に関する要望書

平成29年12月17日

ベンゾジアゼピン系薬物を処方する医療機関の方へ

全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会 (BYA)

代表 多田 雅史



拝啓 師走の候、貴殿ますますご健勝のことと存じます。

当会は、本年11月8日に設立された向精神薬ベンゾジアゼピン系薬物の副作用の被害者団体であり、ベンゾジアゼピン系薬物の副作用について、被害者が結集し、厚生労働省行政当局、関係医学会及び製薬会社に対して、①被害の実情の把握、②正確な副作用情報の提供、③治療方法の研究、④治療機関の設立、⑤専門知識を持つ医療者の育成及び⑥損害の賠償などについて、一致協力して対応していくことを目的に、「全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会」として設立されました。

当会は、国内におけるベンゾジアゼピン系薬物の処方に問題があると考えており、貴殿に本要望書を送付し、今後、下記の要望事項に沿って、貴殿がベンゾジアゼピンの慎重かつ適正な処方を行われるように要望します。また、本要望書をもって、本趣旨の要望が適正に行われたため、特に、ご留意されるようお願いいたします。時節柄、貴殿のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

敬具

記

1. 要望の背景

(1) ご承知のとおり、本年3月21日、すべてのベンゾジアゼピン系薬物の医薬品添付文書が改訂され、①「**薬物依存**」について、臨床用量の範囲内においても、「連用」により薬物依存が生じることがあることが認められ、②「**離脱症状**」についても、「連用中」における投与量の急激な減少ないし投与の中止により離脱症状があらわれることがあることも認められました。また、③「**奇異反応**」についても、本来の鎮静効果等とは逆行する副作用が、従来、パーソナリティ障害患者等において発現するとされていましたが、改訂により「あらゆる投与患者」において発現する可能性があることも認められました。そして、医薬品添付文書の重大な副作用の警告は、「大量連用」が「連用」に改訂されるなどの措置が行われ、「ベンゾジアゼピンの臨床用量依存（常用量依存）」が存在することが示されました。したがって、ベンゾジアゼピンの薬物依存、離脱症状及び奇異反応などの副作用は、治療上において生じた2次的な「**医原性の疾患**」であることが明らかになりました。



(2) これまで、ベンゾジアゼピンは、即効性があり、幅広い病態に対してある程度の反応が見込めるため、日本国内では多様な疾患に対して汎用され、いわゆる「患者が喜んで帰る便利な薬」としてもはやされてきました。そして、多様な症状に対して何種類ものベンゾジアゼピン系薬物が重複して処方されるなど「多剤処方」が慣例化し、結果的に「多量処方＝オーバードーズ」を招き、多くの副作用を生じることになったため、厚生労働省は、ベンゾジアゼピンの国内消費量を削減する目的で、複数回、多剤大量処方に対する診療報酬の減算対策をとっており、ベンゾジアゼピンの消費量の低減対策について診療報酬を規制することにより進めてきました。ところが、国内のベンゾジアゼピン消費量は、大きく減少することがなく、現在でも大量消費が続いています。また、国連麻薬統制委員会（INC B）及び経済協力開発機構（OECD）などの国際機関から、国内消費量の多さに対し、「日本ではベンゾジアゼピンの不適切な処方がある」との警告がなされています。その結果、現在、健康保険の財政を圧迫することとなり、急速な少子高齢化社会の進行の中で、中央社会保険医療協議会（中医協）では、保険料支出の圧縮削減を目的に、ベンゾジアゼピンの処方用量、処方期間又は対象疾患などについて一層の規制強化が議論されています。ベンゾジアゼピンに対するそれらの規制は、すでに多くの諸外国で実施されているため、日本でも2018年の診療報酬改訂で実現されるものと予想されます。

2. 当協議会の考え

(1) 基本的な考え

しかしながら、当会は、ベンゾジアゼピンの適切な処方による消費量の削減は、本来、医療者自身による医療者への教育・啓蒙により行われるべきものであり、診療報酬の減算という形で規制しなければ、消費量を抑え込めない現在の状態は、医療者にとって残念なことであり嘆かわしい事態であると考えます。かかる事態は、ベンゾジアゼピンの副作用が「医原性の疾患」である以上、医療者にとって恥ずべきことであり、医療者自身が深く反省しなければなりません。当然、医療は患者の福利を最善とするものでなければなりません。

このような状況下で、一部の医療者が、「ベンゾジアゼピンは薬物依存も離脱症状も発症しない」、「ベンゾジアゼピン常用量依存は医学的治療の対象外であり、専門的治療の必要性がない疾患である」、「薬物依存や離脱症状はベンゾジアゼピンを服用する患者の性格傾向などの特性が原因である」、「ベンゾジアゼピン常用量依存が疑われる患者の多くが基礎に別の精神障害を抱えており、患者自身が離脱と主張する症状は元からの精神障害の症状である」、「ベンゾジアゼピン服用患者で常用量依存を1人も診たことがない」、「離脱症状を発症しても2～4週間程度の短期間で自然軽快する」などと、医学的事実と相違する意見を述べていることに対し、当会は、極めて深刻かつ由々しき事態であると認識しています。

すなわち、すでに日本がベンゾジアゼピンの大量消費国に陥っていることは事実であり、当会は、その原因の1つが厚生労働行政におけるベンゾジアゼピンの規制のズレや遅れであり、



さらに、その元凶は、国内の一部の薬物依存研究者が世界中で周知となっていた「ベンゾジアゼピンの薬物依存の危険性」を正確に把握せず、又、国内へ伝えずに、逆に、隠してきたともいえる状況が原因であり、その結果、国内の大量消費に繋がったものと考えています。

医療者がベンゾジアゼピンによる副作用の被害を明らかにせず、副作用の責任を患者に転嫁しようとしていると疑われるような行為があることは、「医療事故の隠蔽」といわれても仕方がなく、断じて許されるものではありません。そのことは、中医協（平成29年10月18日）において、健康保険連合会による膨大なレセプトデータの分析結果により、ベンゾジアゼピンの65%が精神科以外の診療科で処方され、また、服用患者の92%が精神科治療を施行されない状態下で処方されていたことが提示されたため、ベンゾジアゼピンの副作用自体が多くの患者を精神疾患に罹患させている可能性があることが判明していることから明らかです。

(2) 国内の現状

現状、国内におけるベンゾジアゼピンによる医原性疾患の蔓延は、ベンゾジアゼピン服用患者のみならず、すでに厚生労働行政当局及び多くの医療者が把握するところとなっています。当会は、かかる事態に至った原因は、上記と合わせて、①諸外国に対して国内規制のズレや遅れ、②医療者のベンゾジアゼピン処方に関する認識・知識の低さ及び教育の不足、③ベンゾジアゼピンが麻薬や覚せい剤と等と同等の依存性薬物であるにもかかわらず、国内規制の導入における歴史的経緯から、「薬物の依存性に起因する副作用」がパーソナリティ障害などの特定の患者のみに発現すると誤解・曲解されてきたこと、④さらには、一旦、「安全な薬」として広く汎用された薬物について、後に副作用の危険性が指摘され明らかになっても、処方制限がかけられない医療及び行政の体質の問題など、多様な原因が存在するものと考えおり、そのことは過去の薬害事例をみても明らかです。

(3) 結論

以上より、ベンゾジアゼピンには鎮静効果があるため、あらゆる神経症状の一時的な緩和には有効とされますが、同時に、依存性があるため、1か月を超えて長期間にわたり連用することは薬物依存となる危険性を伴う薬物です。したがって、ベンゾジアゼピンもバルビタール酸系薬物と同様に、薬物依存等の副作用の発症を避けるため、極力、長期連用は行うべきではない薬物です。また、長期処方は認知機能の低下や精神運動機能の抑制、健忘、転倒、交通事故などの多様な2次・3次的な災禍の原因にもなっています。

そこで、当会は、貴殿に本要望書を送付し、今後、下記の要望事項に沿って、貴殿がベンゾジアゼピンの慎重かつ適正な処方を行われるように要望します。

【当協議会の連絡先】

全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会 〒461-0001 名古屋市東区泉1-1-35ハイエスト久屋5F
柴田・羽賀法律事務所 Tel : 052-953-6011 email: bzdyakugai@gmail.com



要 望 事 項

1. ベンゾジアゼピン系薬物を処方する場合、「薬物依存」、「離脱症状」及び「奇異反応」などの副作用の危険性について、事前に患者へ説明し同意を得ること。

(理由) ベンゾジアゼピン系薬物の医薬品添付文書には、重大な副作用として「薬物依存」、「離脱症状」及び「奇異反応」などが警告されているため、処方に際しては、ベンゾジアゼピンを処方するリスクとベネフィットについて、十分に患者に説明し、同意を得た上で、処方を開始すること。患者が希望するからという理由で、安易にベンゾジアゼピンを長期に漫然と処方しないこと。

2. ベンゾジアゼピン系薬物の漫然とした長期投与を避けること。「連用」となる処方期間が1か月間（4週間）を超える場合、診断を見直し、ベンゾジアゼピン処方の必要性を検証すること。

(理由) ベンゾジアゼピンは、即効性により短期間の処方是有効性があっても、1か月以上の長期処方においては、薬物耐性の出現により改善がないことが明らかにされている。また、長期処方は認知機能の低下や精神運動機能の抑制、健忘、転倒、交通事故などの多様な災禍の原因にもなっている。「連用」とならないよう、服薬指導が必要である。

3. ベンゾジアゼピンの処方用量は、ジアゼパム換算により等価換算し、①「1日当たりの処方用量」及び②処方開始からの「総処方用量」を把握し管理すること。

(理由) ベンゾジアゼピンの副作用の発現リスクは処方用量と相関することが、すでにDSM（精神障害の診断と統計マニュアル）及びカプラン臨床精神医学テキスト（DSM-5診断基準の臨床への展開）などの精神科治療の基準書で明らかにされている。ベンゾジアゼピンの用量は、基準薬物のジアゼパムに等価換算することで力価を評価する方法が確立しており、ジアゼパム換算で2700mgの総処方用量が、薬物依存を発症する「一定の閾値」として提唱されており、現在では、それ以下の閾値も提唱されている。



4. ベンゾジアゼピンの減薬・断薬治療に際しては、「減薬計画」を立案し、減薬用量、減薬期間及び減薬に伴う症状を緩和する併用薬を検討し、慎重に施行すること。

(理由) ベンゾジアゼピンは4週間程度の短期間の連用で「薬物依存」となるため、その後、減薬すると「離脱症状」を発症するため、「離脱症状」の苦しさ・厳しさから、簡単には減薬が困難で、原疾患の治癒とは関係なく止む無く服用を継続する「常用量依存患者」が多数存在する。したがって、ベンゾジアゼピンを減薬する場合、減薬用量をジアゼパム換算して決定し、重篤な離脱症状を発症させないように、減薬期間は複数年、元用量によっては数年以上をかけて、緩徐に減薬治療を施行する必要がある。

5. ベンゾジアゼピンの処方前及び減薬前に、既往の症状を特定する確定診断を行い、ベンゾジアゼピンの処方又は減薬時に生じる「薬物依存」、「離脱症状」及び「奇異反応」などの副作用と区別すること。

(理由) 従来、ベンゾジアゼピンの副作用を発症しても、一般論として「ベンゾジアゼピンの離脱症状は、既往の症状と混在して判別できない」などとして、単純に副作用の発症が否定されてきた。ベンゾジアゼピンが薬物依存などにより精神疾患を発症させる危険性がある薬物である以上、離脱症状の診断が難しいことを理由にして、既往症とベンゾジアゼピンの副作用を混同しないように、事前に症状を確定診断する必要がある。

6. ベンゾジアゼピンの減薬又は断薬の際に発症した「離脱症状」は、複数年にわたり長期化する「遷延性の長期離脱症候群」に注意すること。

(理由) 一旦、「離脱症状」を発症すると、ベンゾジアゼピンを再投与しても容易に症状が鎮静化せず、複数年にわたり長期化する「遷延性の長期離脱症候群」が存在する。その症状は、認知機能障害、消化管障害又は視力機能障害など多岐にわたり、継続的な治療が必要となる。元々、重篤な「離脱症状」を回避するように注意しなければならない。

以上



本要望書の送付先

名称	所在地
【参考送付先】	
厚生労働大臣	〒100-8916 東京都千代田区霞が関 1-2-2
同上 医薬・生活衛生局長	〒100-8916 東京都千代田区霞が関 1-2-2
同上 医政局長	〒100-8916 東京都千代田区霞が関 1-2-2
文部科学大臣	〒100-8959 東京都千代田区霞が関 3-2-2
健康保険連合会	〒107-8558 東京都港区南青山 1 丁目 24 番 4 号
日本医師会	〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-28-16
日本精神神経学会	〒113-0033 東京都文京区本郷 2-38-4 本郷弓町ビル 5F
日本精神科病院協会	〒108-8554 東京都港区芝浦 3-15-14
薬害オンラインフォーラム会議	〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-14 -4 AM ビル 4F
ベンゾジアゼピン薬害を考える会	〒461-0001 名古屋市東区泉 1-1-35 ハイエスト久屋 5F 柴田・羽賀法律事務所内
(株)医薬経済社	〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4 丁目 8 番 15 号ネオカワイビル 8 階
朝日新聞社	〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2
読売新聞社	〒100-8055 東京都千代田区大手町 1-7-1
中日新聞社	〒460-8511 名古屋市中区三の丸一丁目 6 番 1 号
日本経済新聞社	〒100-8066 東京都千代田区大手町 1-3-7
日本放送協会	〒150-8001 東京都渋谷区神南 2-2-1
【送付先】 (1) 関係医療機関	
国立研究開発法人国立循環器病センター	〒565-8565 吹田市藤白 5-7-1
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター	〒187-8551 東京都小平市小川東町 4-1-1
日本赤十字社 大阪赤十字病院	〒543-8555 大阪市天王寺区筆ヶ崎町 5-30
国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター	〒420-8688 静岡県静岡市葵区漆山 886
医療法人協和会 千里中央病院	〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町 1 丁目 4-3
地方独立行政法人 市立吹田市民病院	〒564-0082 吹田市片山町 2 丁目 13 番 20 号



全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会
Benzodiazepine YAKUGAI Association

【送付先】(2) 大学病院	
北海道大学医学部附属病院	〒060-8648 札幌市北区北14条西5丁目
札幌医科大学医学部附属病院	〒060-8543 札幌市中央区南一条西16丁目
旭川医科大学医学部附属病院	〒078-8510 旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号
弘前大学医学部附属病院	〒036-8563 弘前市本町53
岩手医科大学附属病院	〒020-8505 盛岡市内丸19-1
秋田大学医学部附属病院	〒010-8543 秋田市本道1-1-1
東北大学病院	〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1
東北医科薬科大学 若林病院	〒984-8560 仙台市若林区大和町2-29-1
山形大学医学部附属病院	〒990-9585 山形市飯田西2-2-2
福島県立医科大学医学部附属病院	〒960-1295 福島市光ヶ丘1番地
群馬大学医学部附属病院	〒371-8511 前橋市昭和町3-39-15
自治医科大学附属病院	〒329-0498 栃木県河内郡南河内町薬師寺3311-1
獨協医科大学病院	〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町大字北小林880
筑波大学附属病院	〒305-8576 つくば市天久保2-1-1
埼玉医科大学附属病院	〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38
埼玉医科大学総合医療センター	〒350-8550 川越市鴨田辻道町1981
防衛医科大学校病院	〒359-8513 所沢市並木3-2
千葉大学医学部附属病院	〒260-8677 千葉市中央区亥鼻1-8-1
日本大学医学部附属板橋病院	〒173-0032 板橋区大谷口上町30-1
帝京大学医学部附属病院	〒173-0003 板橋区加賀2-11-1
日本医科大学附属病院	〒113-8603 文京区千駄木1-1-5
日本医科大学附属第二病院	〒211-8533 川崎市中原区小杉町1-396
日本医科大学附属多摩永山病院	〒206-8512 多摩市永山1-7-1
東京大学医学部附属病院	〒113-8655 文京区本郷7-3-1
東京大学医学部附属病院分院	〒112-8688 文京区目白台3-28-6
東京大学医科学研究所附属病院	〒108-0071 港区白金台4-6-1
順天堂大学医学部附属順天堂医院	〒113-8431 文京区本郷3-1-3



全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会
Benzodiazepine YAKUGAI Association

順天堂大学医学部附属順天堂浦安病院	〒279-0021 浦安市富岡 2-1-1
東京医科歯科大学医学部附属病院	〒113-8519 文京区湯島 1-5-45
東京医科大学附属病院	〒160-0023 新宿区西新宿 6-7-1
東京医科大学八王子医療センター	〒193-0998 八王子館町 1163
東京女子医科大学病院	〒162-8666 新宿区河田町 8-1
東京慈恵会医科大学附属病院	〒105-8471 港区西新橋 3-19-18
東京慈恵会医科大学附属第三病院	〒201-8601 狛江市和泉本町 4-11-1
東京慈恵会医科大学附属柏病院	〒277-8567 柏市柏下 163-1
東京慈恵会医科大学附属青戸病院	〒125-8506 葛飾区青戸 6-41-2
昭和大学病院	〒142-8666 品川区旗の台 1-5-8
昭和大学附属豊州病院	〒135-8577 江東区豊州 4-1-18
昭和大学藤ヶ丘病院	〒227-8501 横浜市青葉区藤ヶ丘 1-30
昭和大学藤が丘リハビリテーション病院	〒227-8518 横浜市青葉区藤が丘 2-1-1
東邦大学医学部附属病院	〒143-8541 大田区大森西 6-11-1
東邦大学医学部附属大橋病院	〒153-8515 目黒区大橋 2-17-6
東邦大学医学部附属佐倉病院	〒285-0841 佐倉市下志津 564-1
杏林大学医学部附属病院	〒181-8611 三鷹市新川 6-20-2
慶應義塾大学病院	〒160-8582 新宿区信濃町 35
聖マリアンナ医科大学病院	〒216-8511 川崎市宮前区菅生 2-16-1
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	〒241-0811 横浜市旭区矢指町 1197-1
横浜市立大学附属病院	〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9
北里大学病院	〒252-0375 相模原市南区北里 1-15-1
北里大学東病院	〒228-8520 相模原市麻溝台 2-1-1
東海大学医学部附属病院	〒259-1193 伊勢原市下糟屋 143
信州大学医学部附属病院	〒390-8621 松本市旭 3-1-1
新潟大学医学部附属病院	〒951-8520 新潟市旭町通一番町 754
山梨大学医学部附属病院	〒409-3898 山梨県中巨摩郡玉穂町下河東 1110
富山医科薬科大学附属病院	〒930-0194 富山市杉谷 2630



全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会
Benzodiazepine YAKUGAI Association

金沢大学医学部附属病院	〒920-8641 金沢市宝町 13-1
金沢医科大学病院	〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学 1-1
福井医科大学医学部附属病院	〒910-1193 福井県吉田郡松岡町下合月 23-3
浜松医科大学附属病院	〒431-3192 浜松市半田町 3600
岐阜大学医学部附属病院	〒500-8705 岐阜市司町 40
名古屋大学医学部附属病院	〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65
名古屋市立大学医学部附属病院	〒467-8602 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1
藤田保健衛生大学医学部病院	〒470-1192 豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98
愛知医科大学附属病院	〒480-1195 愛知県愛知郡長久手町岩作雁又 21
三重大学医学部附属病院	〒514-8507 津市江戸橋 2-174
滋賀医科大学附属病院	〒520-2192 大津市瀬田月輪町
京都大学医学部附属病院	〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54
京都府立医科大学附属病院	〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町 465
関西医科大学附属病院	〒570-8507 守口市文園町 10-15
関西医科大学附属男山病院	〒614-8366 八幡市男山泉 19
関西医科大学附属洛西ニュータウン病院	〒610-1142 京都市西京区大枝東新林町 3-6
大阪大学医学部附属病院	〒565-0871 吹田市山田丘 2-15
近畿大学医学部附属病院	〒589-8511 大阪狭山市大野東 377-2
大阪市立大学医学部附属病院	〒545-8586 大阪市阿倍野区旭町 1 丁目 5 番 7 号
大阪医科大学附属病院	〒569-8686 高槻市大学町 2 番 7 号
奈良県立医科大学附属病院	〒634-8522 橿原市四条町 840 番地
和歌山県立医科大学附属病院	〒641-8510 和歌山市紀三井寺 811 番地 1
神戸大学医学部附属病院	〒650-0017 神戸市中央区楠町 7-5-2
兵庫医科大学病院	〒663-8501 西宮市武庫川町 1-1
鳥取大学医学部附属病院	〒683-8504 米子市西町 36-1
島根大学医学部附属病院	〒693-8501 出雲市塩冶町 89-1
岡山大学医学部附属病院	〒700-8558 岡山市鹿田町 2-5-1
川崎医科大学附属病院	〒701-0192 倉敷市松島 577



全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会
Benzodiazepine YAKUGAI Association

広島大学医学部附属病院	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3
山口大学医学部附属病院	〒755-8505 宇部市南小串 1-1-1
徳島大学病院	〒770-8503 徳島市蔵本町 2 丁目 50-1
愛媛大学医学部附属病院	〒791-0295 愛媛県温泉郡重信町大字志津川
高知医科大学医学部附属病院	〒783-8505 南国市岡豊町小蓮
香川医科大学附属病院	〒761-0793 香川県木田郡三木町大字池戸 1750-1
産業医科大学病院	〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1
九州大学医学部附属病院	〒812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1
九州大学生体防御医学研究所附属病院	〒874-0838 別府市鶴見原 4546
福岡大学医学部附属病院	〒814-0180 福岡市城南区七隈 7-45-1
久留米大学病院	〒830-0011 久留米市旭町 67 番地
佐賀医科大学付属病院	〒849-8501 佐賀市鍋島 5-1-1
長崎大学医学部附属病院	〒852-8501 長崎市坂本 1-7-1
熊本大学医学部附属病院	〒860-8556 熊本市本荘 1-1-1
大分医科大学附属病院	〒879-5593 大分県大分郡挾間町医大ヶ丘 1-1
宮崎医科大学附属病院	〒889-1692 宮崎県宮崎郡清武町大字木原 5200
鹿児島大学医学部附属病院	〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘 8-35-1
琉球大学医学部附属病院	〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町字上原 207
【送付先】(3)日本精神科病院協会病院(1204病院)の内、病院機能評価有り病院(210病院)	
旭川圭泉会病院	〒078-8208 北海道旭川市東旭川町下兵村 252
石金病院	〒001-0930 北海道札幌市北区新川 714-2
植苗病院	〒059-1365 北海道苫小牧市字植苗 52-2
大谷地病院	〒004-0041 北海道札幌市厚別区大谷地東 5-7-10
五稜会病院	〒002-8029 北海道札幌市北区篠路九条 6-2-3
札幌太田病院	〒063-0005 北海道札幌市西区山の手五条 5-1-1
さっぽろ香雪病院	〒004-0839 北海道札幌市清田区真栄 319
札幌鈴木病院	〒001-0903 北海道札幌市北区新琴似三条 1-1-27
札幌トコイ病院	〒003-0869 北海道札幌市白石区川下 577-8



全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会
Benzodiazepine YAKUGAI Association

三愛病院	〒059-0493 北海道登別市中登別町 24
島松病院	〒061-1356 北海道恵庭市西島松 570
ときわ病院	〒005-0853 北海道札幌市南区常盤三条 1-6-1
函館渡辺病院	〒042-8678 北海道函館市湯川町 1-31-1
さくら病院	〒039-1105 青森県八戸市大字八幡字上樋田 8-1
青南病院	〒039-1104 青森県八戸市大字田面木字赤坂 16-3
芙蓉会病院	〒030-0133 青森県青森市大字雲谷字山吹 93-1
秋田緑ヶ丘病院	〒011-0911 秋田県秋田市飯島字堀川 84
協和病院	〒019-2413 秋田県大仙市協和上淀川字五百刈田 277-1
横手興生病院	〒013-0016 秋田県横手市根岸町 8-21
鹿島記念病院	〒987-1222 宮城県石巻市広瀨字長山 100 番地
こだまホスピタル	〒986-0873 宮城県石巻市山下町 2-5-7
仙南サトリウム	〒989-0213 宮城県白石市大鷹沢三沢字中山 74-10
尾花沢病院	〒999-4222 山形県尾花沢市大字朧気 695 番地の 3
佐藤病院	〒999-2221 山形県南陽市柵塚 948-1
山形さくら町病院	〒990-0045 山形県山形市桜町 2-75
あさかホスピタル	〒963-0198 福島県郡山市安積町笹川字経坦 45
太田西ノ内病院	〒963-8558 福島県郡山市西ノ内 2-5-20
竹田綜合病院	〒965-8585 福島県会津若松市山鹿町 3-27
星ヶ丘病院	〒963-0211 福島県郡山市片平町字北三天 7
永井ひたちの森病院	〒319-1413 茨城県日立市小木津町 966
宮本病院	〒300-0605 茨城県稲敷市幸田 1247
千葉病院	〒274-0822 千葉県船橋市飯山満町 2-508
中村古峽記念病院	〒260-0844 千葉県千葉市中央区千葉寺町 188
朝日病院	〒323-0014 栃木県小山市大字喜沢 660
足利富士見台病院	〒326-0845 栃木県足利市大前町 1272
鹿沼病院	〒322-0002 栃木県鹿沼市千渡 1585-2
埼玉森林病院	〒355-0807 埼玉県比企郡滑川町和泉 704



全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会
Benzodiazepine YAKUGAI Association

丸木記念福祉メディカルセンター	〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38
永生病院	〒193-0942 東京都八王子市櫛田町 583-15
青梅成木台病院	〒198-0001 東京都青梅市成木 1-447
大泉病院	〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町 6-9-1
烏山病院	〒157-8577 東京都世田谷区北烏山 6-11-11
吉祥寺病院	〒182-0011 東京都調布市深大寺北町 4-17-1
桜ヶ丘記念病院	〒206-0021 東京都多摩市連光寺 1-1-1
成仁病院	〒121-8515 東京都足立区島根 3-2-1
高月病院	〒192-0005 東京都八王子市宮下町 178
多摩平の森の病院	〒191-0062 東京都日野市多摩平 3-1-17
東京足立病院	〒121-0064 東京都足立区保木間 5-23-20
東京武蔵野病院	〒173-0037 東京都板橋区小茂根 4-11-11
平川病院	〒192-0152 東京都八王子市美山町 1076
山田病院	〒188-0012 東京都西東京市南町 3-4-10
群馬病院	〒370-3516 群馬県高崎市稲荷台町 136
サンビエール病院	〒370-0857 群馬県高崎市上佐野町 786-7
原病院	〒370-0127 群馬県伊勢崎市境上武士 898-1
愛光病院	〒243-0005 神奈川県厚木市松枝 2-7-1
厚木佐藤病院	〒243-0125 神奈川県厚木市小野 759
横浜相原病院	〒246-0026 神奈川県横浜市瀬谷区阿久和南 2-3-12
白根緑ヶ丘病院	〒950-1262 新潟県新潟市南区西白根 41
田宮病院	〒940-2183 新潟県長岡市深沢町 2300
新潟信愛病院	〒950-2076 新潟県新潟市西区上新栄町 1-1-1
松浜病院	〒950-3121 新潟県新潟市北区松浜町 3396
飯田病院	〒395-8505 長野県飯田市大通 1-15
ミッドア小倉病院	〒399-8103 長野県安曇野市三郷小倉 6086-2
峡西病院	〒400-0405 山梨県南アルプス市下宮地 421
日下部記念病院	〒405-0018 山梨県山梨市上神内川 1363



全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会
Benzodiazepine YAKUGAI Association

魚津緑ヶ丘病院	〒937-0807 富山県魚津市大光寺 287
小矢部大家病院	〒932-8511 富山県小矢部市島 321
グリーンヒルズ若草病院	〒939-0405 富山県射水市藤巻 51-2
谷野呉山病院	〒930-0103 富山県富山市北代 5200
桜ヶ丘病院	〒920-3112 石川県金沢市観法寺町へ 174
福井厚生病院	〒918-8537 福井県福井市下六条町 201 番地
松原病院	〒910-0017 福井県福井市文京 2-9-1
神経科浜松病院	〒432-8013 静岡県浜松市中区広沢 2-56-1
聖隷三方原病院	〒433-8558 静岡県浜松市北区三方原町 3453
鷹岡病院	〒419-0205 静岡県富士市天間 1585
沼津中央病院	〒410-8575 静岡県沼津市中瀬町 24-1
三方原病院	〒432-8063 静岡県浜松市南区小沢渡町 2195-2
犬山病院	〒484-0094 愛知県犬山市大宇塔野地字大畔 10
刈谷病院	〒448-0851 愛知県刈谷市神田町二丁目 30 番地
北津島病院	〒490-1323 愛知県稲沢市平和町嫁振 307
共和病院	〒474-0071 愛知県大府市梶田町 2-123
豊田西病院	〒470-0344 愛知県豊田市保見町横山 100
八事病院	〒468-0073 愛知県名古屋市天白区塩釜口 1-403
のぞみの丘ホスピタル	〒505-0004 岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3555
大仲さつき病院	〒511-0243 三重県員弁郡東員町大字穴太 2000
多度あやめ病院	〒511-0101 三重県桑名市多度町柚井 1702
久居病院	〒514-1138 三重県津市戸木町 5043
松阪厚生病院	〒515-0044 三重県松阪市久保町 1927-2
長岡病院	〒617-0843 京都府長岡京市友岡 4-18-1
洛和会音羽病院	〒607-8062 京都府京都市山科区音羽珍事町 2
滋賀八幡病院	〒523-8503 滋賀県近江八幡市鷹飼町 744
セフィト病院	〒526-0045 滋賀県長浜市寺田町 257
秋津鴻池病院	〒639-2273 奈良県御所市池之内 1064



全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会
Benzodiazepine YAKUGAI Association

當麻病院	〒639-0273 奈良県葛城市染野 520
万葉クリニック	〒634-0832 奈良県橿原市五井町 247
吉田病院	〒631-0818 奈良県奈良市西大寺赤田町 1-7-1
有馬高原病院	〒651-1512 兵庫県神戸市北区長尾町上津 4663-3
有馬病院	〒651-1412 兵庫県西宮市山口町下山口 1637-5
揖保川病院	〒671-1688 兵庫県たつの市揖保川町半田 703-1
姫路北病院	〒679-2203 兵庫県神崎郡福崎町南田原 1134-2
浅香山病院	〒590-0018 大阪府堺市堺区今池町 3-3-16
和泉中央病院	〒594-0042 大阪府和泉市箕形町 6-9-8
茨木病院	〒567-0801 大阪府茨木市総持寺 1-4-1
木島病院	〒597-0044 大阪府貝塚市森 892
国分病院	〒582-0026 大阪府柏原市旭ヶ丘 4-672
小阪病院	〒577-0809 大阪府東大阪市永和 2-7-30
さわ病院	〒561-0803 大阪府豊中市城山町 1-9-1
七山病院	〒590-0421 大阪府泉南郡熊取町七山 2-2-1
新阿武山病院	〒569-1041 大阪府高槻市奈佐原 4-10-1
丹比荘病院	〒583-0884 大阪府羽曳野市野 164-1
ねや川サトリウム	〒572-0854 大阪府寝屋川市寝屋川公園 2370-6
浜寺病院	〒592-0003 大阪府高石市東羽衣 7-10-39
阪南病院	〒599-8263 大阪府堺市中央区八田南之町 277
美喜和会ホスピタル	〒569-1197 大阪府高槻市大字奈佐原 10-10
三国丘病院	〒590-0027 大阪府堺市堺区榎元町 1-5-1
田村病院	〒649-6261 和歌山県和歌山市小倉 645
医療福祉センター倉吉病院	〒682-0023 鳥取県倉吉市山根 43
大山リハビリテーション病院	〒689-4102 鳥取県西伯郡伯耆町大原 927-1
松江青葉病院	〒690-0015 島根県松江市上乃木 5-1-8
松ヶ丘病院	〒698-0041 島根県益田市高津 4-24-10
安来第一病院	〒692-0011 島根県安来市安来町 899-1



全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会
Benzodiazepine YAKUGAI Association

片倉病院	〒755-0151 山口県宇部市西岐波区岩上 229-3
重本病院	〒759-6312 山口県下関市豊浦町大字黒井 97-50
下関病院	〒759-6613 山口県下関市富任町 6-18-18
田代台病院	〒754-0122 山口県美祢市美東町真名 2941
長門一ノ宮病院	〒751-0885 山口県下関市形山みどり町 17-35
萩病院	〒758-0057 山口県萩市大字堀内 278
岡南病院	〒706-0001 岡山県玉野市田井 2-4584
瀬戸内記念病院	〒701-4276 岡山県瀬戸内市長船町服部 290 番 5
万成病院	〒700-0071 岡山県岡山市北区谷万成 1-6-5
草津病院	〒733-0864 広島県広島市西区草津梅が台 10-1
瀬野川病院	〒739-0323 広島県広島市安芸区中野東 4-11-13
カムラ病院	〒731-5142 広島県広島市佐伯区坪井 3-818-1
光の丘病院	〒720-1147 広島県福山市駅家町向永谷 302
ふたば病院	〒737-0143 広島県呉市広白石 4-7-22
三原病院	〒723-0003 広島県三原市中之町 6-31-1
宗近病院	〒739-0024 広島県東広島市西条町御菌宇 703
メープルヒル病院	〒739-0651 広島県大竹市玖波 5-2-1
吉田病院	〒737-2126 広島県江田島市江田島町津久茂 2-6-2
回生病院	〒762-0007 香川県坂出市室町 3-5-28
くじら病院	〒796-8010 愛媛県八幡浜市五反田 1 番耕地 1046-1
藍里病院	〒771-1342 徳島県板野郡上板町佐藤塚字東 288-3
城西病院	〒770-0005 徳島県徳島市南矢三町 3-11-23
城南病院	〒771-4261 徳島県徳島市丈六町行正 27-1
TAOKA こころの医療センター	〒770-0862 徳島県徳島市城東町 2-7-9
土佐病院	〒780-0062 高知県高知市新本町 2-10-24
朝倉記念病院	〒838-0825 福岡県朝倉郡筑前町大久保 500
乙金病院	〒816-0901 福岡県大野城市乙金東 4-12-1
倉光病院	〒819-0037 福岡県福岡市西区大字飯盛 664-1



全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会
Benzodiazepine YAKUGAI Association

篠栗病院	〒811-2413 福岡県糟屋郡篠栗町大字尾仲 94
不知火病院	〒836-0004 福岡県大牟田市大字手鎌 1800
新門司病院	〒800-0102 福岡県北九州市門司区大字猿喰 615
聖マリア病院	〒830-8543 福岡県久留米市津福本町 422
聖ルシア病院	〒830-0047 福岡県久留米市津福本町 1012
田主丸中央病院	〒839-1213 福岡県久留米市田主丸町益生田 892
筑水会病院	〒834-0006 福岡県八女市吉田 1191 番地
中村病院	〒811-1346 福岡県福岡市南区老司 3-33-1
直方中村病院	〒822-0002 福岡県直方市頓野 993 番地 1
のぞえ総合心療病院	〒830-0053 福岡県久留米市藤山町 1730
福岡聖恵病院	〒811-3105 福岡県古賀市鹿部 482
本間病院	〒838-0106 福岡県小郡市三沢 526
牧病院	〒818-0066 福岡県筑紫野市大字永岡 976-1
水戸病院	〒811-2243 福岡県糟屋郡志免町志免東 4-1-1
みなかぜ病院	〒819-1129 福岡県糸島市篠原西 1-14-1
南ヶ丘病院	〒803-0862 福岡県北九州市小倉北区今町 3-13-1
嬉野温泉病院	〒843-0394 佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿乙 1919
大島病院	〒849-0111 佐賀県三養基郡みやき町大字白壁 4287
中多久病院	〒846-0003 佐賀県多久市北多久町大字多久原 2512
早津江病院	〒840-2201 佐賀県佐賀市川副町大字福富 827
高城病院	〒855-0001 長崎県島原市中野町丙 1165
衛藤病院	〒870-1111 大分県大分市大字上判田 3433
大分丘の上病院	〒879-7501 大分県大分市大字竹中 1403
大分下郡病院	〒870-0926 大分県大分市大字下郡 1410
大貞病院	〒871-0157 大分県中津市大字中原 8
鶴見台病院	〒874-0838 大分県別府市大字鶴見 4075-4
帆秋病院	〒870-0843 大分県大分市大字大分 4772-2
向井病院	〒874-0831 大分県別府市大字南立石 241-15



全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会
Benzodiazepine YAKUGAI Association

リバーサイド病院	〒870-1133 大分県大分市大字宮崎 6-3
あおば病院	〒869-0513 熊本県宇城市松橋町萩尾 2037-1
荒尾こころの郷病院	〒864-0041 熊本県荒尾市荒尾 1992
菊陽病院	〒869-1102 熊本県菊池郡菊陽町大字原水 5587
くまもと心療病院	〒869-0416 熊本県宇土市松山町 1901
くまもと青明病院	〒862-0970 熊本県熊本市中央区渡鹿 5-1-37
向陽台病院	〒861-0142 熊本県熊本市北区植木町鏡田 1025
城南病院	〒861-4214 熊本県熊本市南区城南町舞原無番
益城病院	〒861-2233 熊本県上益城郡益城町惣領 1530
八代更生病院	〒866-0043 熊本県八代市古城町 1705
弓削病院	〒861-8002 熊本県熊本市北区弓削 5-12-25
国見ヶ丘病院	〒882-1102 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字押方 1130
県南病院	〒888-0001 宮崎県串間市大字西方 3728
古賀総合病院	〒880-0041 宮崎県宮崎市池内町数太木 1749-1
高宮病院	〒880-0841 宮崎県宮崎市吉村町大町甲 1931
田中病院	〒889-0695 宮崎県東臼杵郡門川町宮ヶ原 4-80
野崎病院	〒880-0916 宮崎県宮崎市大字恒久 5567
吉田病院	〒889-0511 宮崎県延岡市松原町 4-8850
奄美病院	〒894-0044 鹿児島県奄美市名瀬浜里町 170
ウエルフェア九州病院	〒898-0089 鹿児島県枕崎市白沢北町 191
大口病院	〒895-2507 鹿児島県伊佐市大口大田 68
霧島桜ヶ丘病院	〒899-6603 鹿児島県霧島市牧園町高千穂 3617-98
白浜病院	〒890-0047 鹿児島県鹿児島市常盤 1-17-1
谷山病院	〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町 8-1
徳之島病院	〒891-7101 鹿児島県大島郡徳之島町亀津 519
福山病院	〒899-4501 鹿児島県霧島市福山町福山 771
松下病院	〒899-5102 鹿児島県霧島市隼人町真孝 998
みなと病院	〒899-2101 鹿児島県いちき串木野市湊町 1-208



全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会
Benzodiazepine YAKUGAI Association

メンタルホスピタル鹿屋	〒893-0037 鹿児島県鹿屋市田崎町 1043-1
新垣病院	〒904-0012 沖縄県沖縄市安慶田 4-10-3
糸満晴明病院	〒901-0334 沖縄県糸満市字大度 520
オリーブ山病院	〒903-0804 沖縄県那覇市首里石嶺町 4-356
北中城若松病院	〒901-2395 沖縄県中頭郡北中城村字大城 311
【送付先】(4) 特別送付先	
石郷岡病院	〒260-0824 千葉県千葉市中央区浜野町 915
鈴鹿厚生病院	〒510-0226 三重県鈴鹿市岸岡町 589-2

以上